



第91回 渋川摂食嚥下研究会レポート

日時：令和6年12月3日（火）午後7時00分～

会場：渋川ほっとプラザ4階 大会議室

1. 活動報告

「入退院の食支援～病院における摂食嚥下支援チームの活動について～」

- | | | | |
|--------------|----------------|------|---------|
| ① 前橋赤十字病院 | 看護部栄養サポート室 | 看護係長 | 小倉 美佳 氏 |
| ② 群馬中央病院 | 摂食・嚥下障害看護認定看護師 | | 井上 幸子 氏 |
| ③ 高崎総合医療センター | 摂食・嚥下障害看護認定看護師 | | 星野 智美 氏 |

2. 業務説明

「渋川地区嚥下調整食統一シートの運用について」

北毛病院 管理栄養士 渋澤 拓哉 氏

参加者内訳

職種	参加人数
医師	5
歯科医師	5
薬剤師	1
保健師・看護師	19
歯科衛生士	2
ST・OT・PT	7
管理栄養士・栄養士	17
SW・相談員 等	2
介護支援専門員	13
介護職員	16
その他	3
合計人数	90

栄養サポートチーム（NST）や摂食嚥下支援チーム（SST）の需要は、年々高まってきています。低栄養や誤嚥・窒息等のリスクを回避し、安全に食を楽しむための支援。そして病院と在宅（施設）の切れ目のない食支援について、今回は3つの病院の摂食嚥下の専門家に、活動の詳細だけでなく、チームの理念や役割、今後の課題なども話していただきました。

そして渋川地区では、病院と施設の切れ目のない支援に向けて、嚥下調整食統一シートを用いています。こちらのシートには、病院・施設の嚥下調整食が、学会分類のどのコードに当たるのか、分かりやすく記載されています。入退院で環境が変わっても同じ形態の食事ができるように、ぜひ多くの病院や施設に、登録・活用していただきたいと思います。



前橋赤十字病院	群馬中央病院	高崎総合医療センター
安全で安心できる栄養管理にむけた取り組みを中心に。また、入院時に禁食となること症例が多いため、なるべく禁食期間を短縮できるよう、STだけでなく看護師も嚥下評価ができるように整備しているそうです。	嚥下反射を改善するための薬物療法について紹介がありました。また、摂食嚥下の評価にADL評価も取り入れており、日常生活動作の向上が嚥下機能向上にもつながったことが、多くの症例でみられたそうです。	退院時の取組みとして、かかりつけ歯科への情報提供や、退院後も病院NSTへ相談しやすい環境をつくっているとのこと。また、窒息予防のためにマニュアルを作成し、窒息対応の勉強会もしているそうです。

【次回 第92回 渋川摂食嚥下研究会／第65回在宅ケアネット渋川合同講演会

日時：令和7年2月13日（木）午後7時～

会場：プレヴェール渋川

内容：「オーラルフレイルの最新情報 オーラルフレイルの予防、改善」（仮）

講師：東京歯科大学 老年歯科補綴学講座 主任教授 上田 貴之 氏

※会場が異なりますので、ご注意ください。